

千葉学講座

CHIBAGAKU

令和7年
2/8(土)・22(土)

中央博物館講堂

※講座のみの参加の場合は入館料は不要です。
(オンラインにより同時配信)

開場 13:00～13:35～15:50

[現地参加]

当日先着順(定員150名、講堂前の1Fホールで受付)

[オンライン参加]
YouTubeにて配信



2/8 ▶



2/22 ▶

受講料
無料



▲千葉学講座HP

研究員が千葉の魅力をもろと解説



2/8(土)

講演 1 埋立地に新たな文化をつくる
—「五十嵐靖晃 海風」の試み—
千葉県立美術館 松田直子(研究員)

講演 2 県立高校の理科室に眠る昔の自然
千葉県立中央博物館 斎木健一(主任上席研究員)

2/22(土)

講演 1 千葉県の産業の歴史
千葉県立現代産業科学館 井上翔太郎(研究員)

講演 2 「万祝」の昔と今
—絵画・写真と史料から—
千葉県立中央博物館 鈴木建人(研究員)

千葉県立中央博物館
NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2(青葉の森公園内)
TEL 043-265-3111(代表) FAX 043-266-2481
<https://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

事業主体 千葉県立美術館／中央博物館・大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館
現代産業科学館／関宿城博物館／房総のむら(指定管理者[公財]千葉県教育振興財団)



県立博物館では、房総の自然や歴史など、さまざまな分野の調査研究活動を行っています。
「千葉学講座」では、最新の活動成果を研究員がわかりやすく解説！この機会に房総の魅力を再発見しませんか。



2/8(土)

講演 1 (13:35~14:35)

埋立地に新たな文化をつくる —「五十嵐靖晃『海風』の試み—

千葉県立美術館 松田直子(研究員)

県立美術館で開催した千葉県出身のアーティスト・五十嵐靖晃(1978-)による回遊型美術展覧会PROJECT UMINOUE「五十嵐靖晃『海風』」について、アーティストやサポーター「海風クルー」との協働によるプロジェクト展開のプロセスや地域連携事業の概要を紹介し、公立美術館としての挑戦を考察します。

講演 2 (14:45~15:45)

県立高校の理科室に眠る昔の自然

千葉県立中央博物館 斎木健一(主任上席研究員)

高等学校の理科室には、戦前に博物学の授業で使われた標本や、戦後、生物部の活動の課程で集められた標本など、かつての自然を物語る証拠が多数残されています。県内12校および総合教育センターを調査して見つかった標本をもとに、理科室に残されていた自然の記録を紹介します。

アホウドリ(左)と
コウノトリ(右)



そらあみ掲揚式
(2024年7月13日 於:さんばしひろば)
撮影:みさこみさこ



川崎製鉄千葉製鉄所
(現 JFEスチール株式会社 東日本製鉄所・千葉地区)
1号高炉 模型

講演 2 (14:45~15:45)

「万祝」の昔と今 —絵画・写真と史料から—

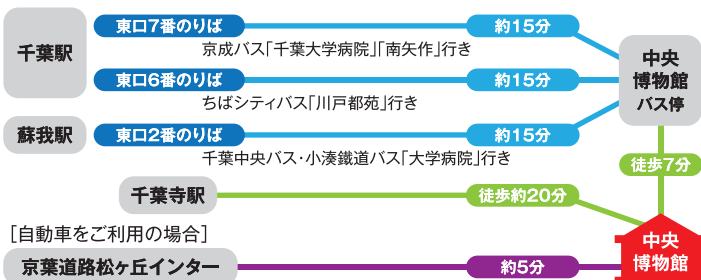
千葉県立中央博物館 鈴木建人(研究員)

江戸時代後期に房総半島で生まれたとされる漁師の祝い着「万祝(まいわい)」。発生から200年余りで、万祝に描かれる図柄や万祝の着こなし、そしてイメージはどのように変化してきたのでしょうか。特別展「万祝博覧会」の調査で分かったその時間的変化を、史料や絵画・写真から紹介します。

万祝



交通案内 ACCESS



■JR千葉駅東口から、バス約15分「中央博物館」下車+徒歩約7分
■JR蘇我駅東口から、バス約15分「中央博物館」下車+徒歩約7分
■京成千葉寺駅から、徒歩約20分 ■自動車の方は「青葉の森公園北口駐車場」(有料)をご利用ください

